



2014・5・20

第184号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「戦争する国づくり」止める世論 草の根から

「報告書」批判の緊急学習会

5月15日、安倍首相の私的諮問機関である「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会（安保法制懇）が」報告書を提出し、報告書を受けた直後に安倍首相は集団的自衛権の行使を「限定的」に容認する姿勢を明らかにしました。この日の夜、九条の会事務局は緊急学習会「止めよう！安倍政権の『戦争する国』づくり」を開催し、会場を埋め尽くす200人余が参加しました。

学習会ではまず山内敏弘・一橋大学名誉教授が「立憲主義と平和主義を破壊する安保法制懇報告書」と題して講演。解釈改憲による集団的自衛権行使容認の違憲性と「必要最小限度」などその論拠のまやかし、集団的自衛権の運用の実態などについて厳しく批判しました。

つづいて渡辺治・一橋大学名誉教授が「集団的自衛権行使容認のねらいと闘いの展望」と題して講演。第1次安倍政権いらいつみあげられてきた集団的自衛権行使容認の動きやそれがアメリカの要求に応えるものであると同時に、アメリカとの矛盾もは

九条の会発足10周年講演会 集団的自衛権と憲法9条

◇6月10日（火） 開会18時（開場17時）

◇会場 東京都渋谷区・渋谷公会堂

◇＜講演＞

大江健三郎（作家・九条の会よびかけ人）

奥平康弘（憲法研究者・九条の会よびかけ人）

澤地久枝（作家・九条の会呼びかけ人）

池田香代子（翻訳家、世界平和アピール七人委員会）

<あいさつ>

金泳鎬（韓国・檀国大学碩座教授）

<ビデオ出演>

阪田雅裕（元内閣法制局長官）

◇参加費 前売1000円 当1500円

◎申し込みは郵便振替口座

00100-9-774293 九条の会講演会

らんだものであること、保守党やマスコミにも広がった批判を紹介し、安倍政権の企てを阻止する展望を語りました。(学習会の講演は九条の会ホームページから動画で見ることができます。講演レジュメも閲覧できます)

学習会における事務局からの訴え

学習会の最後に九条の会事務局はつぎのような3つの訴えをおこないました。

①安保法制懇報告書の危険性の学習を、ただちにあらゆる「会」でおこなおう。

②すべての「会」がそれぞれの「会」にふさわしい形で、宣伝、対話集会など「戦争する国」づくりに反対する草の根からの声をあげよう。

③こんにちの情勢のなかで九条の会発足の意義を再確認し、新たな前進への一歩とするため「10周年講演会」を大きく成功させよう。

東北6県の会が交流

【首長の会】東北6県の市町村長九条の会の第4回交流集会在5月16日秋田市で開かれ、4月24日に結成されたばかりの山形県首長の会も含めて首長経験者14人を含む32人が参加しました。

集会では、座長をつとめた千田謙蔵・元横手市長があいさつで前日に安保法制懇が報告書を出したことに言及し、「集团的自衛権行使の第一歩を踏み出した」「その翌日に交流会を開催することに因縁を感じる。勇気をふるって戦争を許さない決意を固めたい」と述べました。

集会では東北6県すべてに首長の会が結

成され、総勢77名の会員になったことを踏まえ、「東北6県市町村長九条の会連合」を結成することを確認、「絶対に戦争への道は許さない！」とのアピールを発表しました。

【東北九条の会交流会】

東北6県各地の九条の会の第4回交流会が5月17日秋田市で開かれ約300人が参加しました。

交流会では小森陽一九条の会事務局長が「ストップ!『戦争する国』へ暴走する安倍政権」と題して講演。

各地の運動の交流では「学習活動に重点をおき、農政や震災問題などの課題も取り上げ、会を重ねるごとに参加者が増えている」(みやぎ農協人九条の会)などの報告とともに、「党派を超えた地域の体制づくりが難しい」(青森県九条の会)などの悩みも語られました。

草の根で多様な活動を展開

【十勝、帯広九条の会連絡会】4月18日、連絡会の会議を開きました。

《関西友の会「九条の会」》「証言」という本を発行している松本五郎さんの話を聞き秘密保護法の恐ろしさを学びました。

《「九条の会」幕別》「3の日」に地域に入って9条署名をすることになりました。

《士幌「九条の会」》4月12日「憲法を学び合うつどい」を開き憲法の大切さを多くの人に知らせていこうと決めました。

《やくしよ「九条の会」》4月14日発行で通信が151号に。「解釈改憲、歴代政府が否定」などが主な内容。

《「九条の会」音更》4月12日、「憲法アピール署名」活動が129回目に。